

2010(平成22)年5月13日

館外講座だより7



アイランド南部のエイフイアトヨークトル火山の噴火は今なお航空運航に重大な障害を引き起こしています。平穏な時は風光明媚な観光資源としての火山も、有事となれば莫大な被害をもたらします。今から227年前、天明3年(1783)の噴火で浅間山北麓から吾妻川を下った土石流は葛飾の地にまで影響を及ぼしました。通算20回目の今回は前回と逆ルートで約400kmの大追跡を試みました。八ツ場ダム建設に伴い、鉄道の架け替え、橋梁の建設などが進行している吾妻溪谷の景観変貌を体感しながら、災害と河川、ダム建設と東京低地のかかわりを、再認識する契機となれば幸いです。

関越道藤岡ジャンクション付近からのぞむ浅間山



### 浅間根の 鬼風へ向き 春のバス

みなさんのアンケートから 女性○・男性● (参加回数) です。

#### ◆吾妻川の景観/八ツ場ダム

- 木立のすきまから、堂々と色々な姿が見ることが出来、清々しい気持ちにさせられた (5回目)
- 八ツ場ダム騒動の川だったのですね。これからの成り行きも気になります (4回目)
- 静かな流れが、暴れるときを想像出来ない。溪谷を歩いてみたい、次の機会には! (2回目)
- 素晴らしい景観が沈むかと思うと淋しいですネ。でも災害を考えると・・・、考えは色々です (3回目)
- 水の流れ、岩石の流れ、樹木の流れ、自然の生態の美しさ、人工改造は必要ございません。ダム建設は考え直すものです (2回目)
- 新緑の山、山藤、山吹、桜などたくさんの花を見られ楽しみました (初参加)



吾妻溪谷



日本で一番短い樽沢トンネル (約7.2m)

#### 青葉越し 空の青さや 目を見張る



やんば館手前からみる湖面2号橋(仮称)

- 八ツ場ダムの橋は話題になっている為、一度は見に来ようと思っていましたが、今回計らずも車窓から見れて良かったです。もっと神秘的な所にあるのかと思っていましたが、国道沿いにある事、知識となりました (初参加)
- もう少し急流だった気がしていたので、あれっという感じ。八ツ場ダムがつながって橋状になっているのもビックリ。マスコミの報道も片寄りますね (初参加)

### ◆孀恋郷土資料館/鎌原観音堂

- 230年前の浅間山大災害は私達都会に住むものに対し、教えをいただくものが多くありました。スバラシイ資料館です(2回目)
- 火山は噴火するたびに変容する(形)を知りました(3回目)
- 浅間山の大爆発、以後の対応、よく93名の生きのびた人々が村を再起し、今日に至っている歴史、とてもよく学びました(3回目)
- 説明、ビデオが適切で、観音堂の悲劇がよく判りました(初参加)
- 日本のポンペイ。解説で当時の社会生活がよくわかった(2回目)
- 一度は行って見たいと思ったが、特にあの2人のご冥福をお祈りします(6回目)
- ボランティアの説明が結構でした(初参加)
- 埋った階段をのぞいてみて天災のすごさを味わいました。又その時、新しい家族をそれぞれ作ってこの土地を復興されたお話に感銘しました(8回目、ほか多数)
- 天明の飢饉は知ってるつもりですが、今回よくわかりました(初参加)
- 自然の恐ろしさをつくづく感じました。良い天気ですバス旅行が出来、幸せと感ずります(4回目)



埋もれた階段

2010. 3. 30



鎌原地区の浅間石

### ◆鬼押し出し

- 1943年の最初に訪れ、当時は軍事教練の2泊3日のテント生活でした。近代化が進みびっくりです(5回目)
- 地球内の熱・圧力の偉大さを感じた(マグマの力)(2回目)
- 昼食時間がもっと欲しかった。今日は少し寒かったので、鬼押し出しを見なかったけど、次回はまわりを歩いてみたい(5回目)
- ハワイ島で溶岩をみましたが、大分違ってきます(4回目)
- お天気に恵まれたので溶岩を見ても、ものすごかった事痛感できました。うす暗い夕方や月夜の時だったら怖くなりそうですね(初参加)



### 浅間山 優しい顔に鬼を出し



雪残し、雲をいただき  
 天明には静かなり  
 浅間山  
 葛飾より 鎌原村に  
 天明の噴火に  
 思いをはせぬ

浅間山 帽子をどれずの 寒さかな  
 せり上げし 浅間の峯の 残り雪  
 峰望む 夏冷の風や 浅間山



- 何回か来ておりますが、見あきることはありません。これが流れ出てくると想像しただけでも恐ろしくなります (5回目)
- 観光の設備がよくなった分、以前より小さくなった気がしました (初参加)
- すさまじい溶岩の流れを何度見てもあきない。浅間の山容が五月の空に見事であった (7回目)
- 何回も来ているが単なる奇異な観光地と思っていたが、天明の歴史を見直し、想いをこめて観音堂を拝んだ (5回目)

### ◆溶岩樹型

- 生まれて初めて見る事が出来ました。言葉すら知らなかった (初参加、ほか多数)
- 地底からの樹々のさけぶ声が聞こえるようだ (5回目)
- 美しく見える山々も、恐ろしいきずあとを残している事を知りました (2回目)
- 富士の忍野八海の近くでも見た様な気がします (5回目)
- バスがキャベツ畑の中をリターンしたおかげで、広々し、遠くに春の息吹きを感じさせるとてもいい景色が見られました。溶岩樹型の林も木々の間から東京とはまるで違う青空が印象に残りました (4回目)



### ◆その他・自由欄

- 自然の学習は現地確認が一番です。追跡バスツアーには体が続く限り参加します (2回目)
- お土産もたくさん買って、博物館のバスとは思えないほど疲れもなく楽しかったです (4回目)
- 小学校夏休みの林間学校で妙義山に行った時以来であった。今のうちにもう一度登ってみたい。全体によい旅であった (3回目)



溶岩樹型の林からのぞむ千トン岩

TOUR DATA		
時間	経過	滞在時間
7:30	博物館出発	
7:45	四つ木IC	
8:05	川口JCT	
8:15	大泉JCT	
8:47	嵐山PA	10分
9:33	渋川伊香保IC	
9:50	道の駅 おのこ	10分
11:17	孺恋郷土資料館	60分
12:30	鬼押出し園・昼食	63分
14:00	溶岩樹型	15分
14:35	六里ヶ原休憩所	25分
15:35	碓井軽井沢IC	
15:42	横川PA	28分
16:35	藤岡JCT	
17:18	三芳PA	17分
18:45	博物館到着	
内山観光バス：フェニックス号		
ドライバー：大槻義文さん		
走行距離：430 km (記録更新!)		
応募 61人、キャンセル1名 当日参加47名		
参加費3300円うち見学実費760円		

### ツアー後記 **まだ元氣、遊び学んで もう傘寿 これから10年 波乱万丈** 詠み人知らず

私たちのバスツアーにあわせたかのように、北関東の山々は素晴らしいパノラマをみせてくれました。吾妻川を遡上しながら、川原の巨石をみて、葛飾とははるかに遠い浅間山が、災害でつながっていることを認識された方も多いことでしょう。お昼の時間がもう少しとれたらと思いましたが、如何せん・・・日帰り400kmの走行ゆえご容赦ください。ダムと環境問題、災害から学ぶこと、ご家族やお友達に伝えて一緒に考えていただければと思います。またの再会を期して・・・!

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 金井 学 補助 勝田真幸



葛飾区郷土と天文の博物館

〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1

TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>